

マイクロソフトの アクセシビリティ Web サイト

このガイドブックでご紹介している Windows 8 のアクセシビリティ機能をはじめ、パソコンを使う際の障碍（しょうがい）別の詳しいガイド、ケース スタディなどをご紹介します。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/enable>

マイクロソフトの企業市民活動

マイクロソフトでは、「Realizing Potential = 世界中のすべての人々とビジネスの持つ可能性を最大限に引き出すための支援をすること」という企業ミッションを掲げています。ソフトウェアの力でこのミッションを実現するために、マイクロソフトではプラットフォームとテクノロジーを提供するほか、企業市民活動としてさまざまな取り組みを行っています。各プログラムの内容や取り組み事例は、ぜひ企業市民活動のサイトをご覧ください。

<http://www.microsoft.com/ja-jp/citizenship>

●記載される会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
●本冊子の内容は2012年12月現在のものです。
●本冊子で使用している画像はイメージです。



アクセシビリティガイドブック

マイクロソフト ウィンドウズ 8 対応版
アクセシビリティ機能のご紹介

アクセシビリティとは

アクセシビリティとは、“アクセスできる”ための機能や活動を意味します。
マイクロソフトでは、**障害(しょうがい)**がある方やシニアの方も含めてあらゆる方が、
パソコンにアクセスし、パソコンをより快適に、便利に使っていただくために、

- 自社製品のアクセシビリティ機能の拡充
- ICT 活用促進に向けた活動
- パートナーシップを通じた環境整備

を行っています。
このアクセシビリティ ガイドブックでは、Windows 8 をさらに使いやすくする
アクセシビリティ機能をご紹介します。
より快適なパソコン活用のために、ぜひご活用ください。

目 次

	新しい使いやすさ	4
	アクセシビリティ機能へのアクセスと概要	6
	目的に応じてコンピューターを使いやすく設定	10
	コンピューターを画面なしで使用します	10
	ナレーター	11
	コンピューターを見やすくします	13
	ハイ コントラスト	14
	拡大鏡	15
	マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します	17
	スクリーン キーボード	18
	音声認識	20
	マウスを使いやすくします	22
	マウス設定	23
	キーボードを使いやすくします	24
	マウス キー	25
	固定キー	26
	フィルター キー	28
	サウンドの代わりにテキストまたは画像を使用します	30
	コンピューターでの作業に集中しやすくします	31
	タッチ機能とタブレットを使いやすくします	32
	Windows 8 のキーボード ショートカット集	34

XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

Win 8 対応

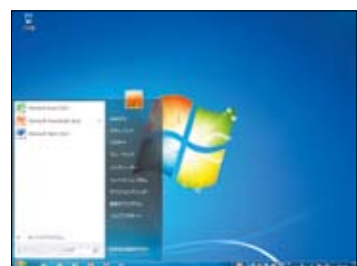
このマークは、該当する機能が Windows の
どのバージョンから利用できるかを示しています。
この例では、該当する機能がWindows Vista、Windows 7、
Windows 8 に搭載されていることを示しています。

新しい使いやすさ

Windows 8 はこんなところが違います

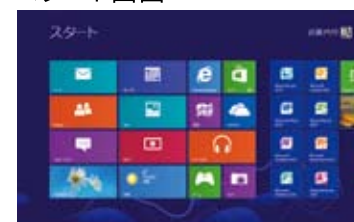
スタート画面とデスクトップの 2 つの画面

Windows 7



Windows 8

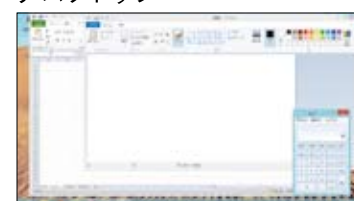
スタート画面



新しい使い方

標準搭載アプリや Windows ストアから入手したアプリを利用できます。

デスクトップ



今までと同じ使い方

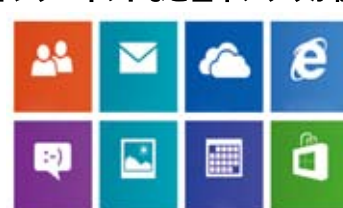
従来のソフトや周辺機器がそのまま利用できます。

Windows 8 のタブレットの特徴

タッチ操作で簡単に使える



メールやインターネットなど基本アプリが標準搭載



画面が大きく、操作に迷わないシンプル画面



どこでも使えるタブレット

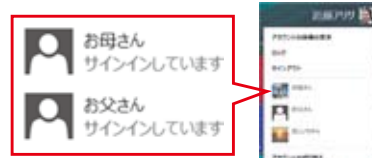


Office が使える



ワードやエクセルなどの編集もできる。レイアウトも崩れません。

みんなで使える



アカウントを切り替えて家族みんなで使える。ピクチャパスワードで子供でも簡単。

PC のソフトや周辺機器も使える



パソコンのソフトウェアや USB 対応のプリンターなどが使える。複数アプリの同時作業もできます。

Windows 8 は 3 つのエディション

■ブレインストール製品、製品版パッケージを提供



Windows 8 (ウィンドウズ エイト)

一般の個人や家庭向け



Windows 8 Pro (ウィンドウズ エイト プロ)

パソコンに詳しい方やビジネス向け

■ブレインストール製品のみ



Windows RT (ウィンドウズ アール ティー)

Windows 8 がスマートフォンのように、いつでもすぐに使えます

エディション別機能比較

Windows 8 Pro には、Windows 8 や Windows RT にはない、仕事向けの機能が追加されています。どのエディションも、タッチ、マウス、キーボードに対応^{※1}しています。

	Windows 8	Windows 8 Pro	Windows RT
スタート画面を使いやすく変更できる	○	○	○
指の動きでサインインできる、ピクチャ パスワード	○	○	○
設定やファイルを同期して、複数の Windows 8 搭載機器を同じ環境で利用できる	○	○	○
Windows 8 用に開発されたアプリがすぐに手に入る Windows ストア	○	○	○
表示言語を 35 か国の言語に切り換えられる多言語対応 ^{※2}	○	○	○
Windows 7 などでも利用していたソフトをデスクトップにインストールして使用できる	○	○	
ファイルやフォルダー単位で暗号化できる暗号化ファイル システム		○	
ドライブを暗号化し、データを保護する BitLocker		○	
会社や学校のネットワークへ簡単かつ安全に接続できるドメイン参加		○	
外出先のパソコンから自宅のパソコンの中に入っているファイルやソフトウェアを操作できる、リモート デスクトップ		○	
会社のネットワークにつながっていないときでも、つながっているときのようにファイルを開いたり編集することができる、オフライン ファイル		○	
Windows 8 上に違う OS をインストールして動かすことができる Client Hyper-V		○	

※1: 対応の機器をご利用の場合 ※2: 言語パックを別途ダウンロードする必要があります

アクセシビリティ機能(コンピューターを使いやすくする機能)へのアクセスと概要

スタート画面からのアクセス



- 1 スタート画面でチャームを呼び出し
【検索】をクリック(タップ)します。

MEMO

チャームの呼び出し方
タッチで: 画面の右端を内側に向かってなぞる
マウスで: 画面の右上または右下の角にポインタを合わせる
キーボードで: [Windows ロゴ] キー + [C]



- 2 【設定】をクリックします。

- 3 「簡単」と入力します。

- 4 画面左側に現れた検索結果の中から
【簡単操作】をクリックします。

- 5 【簡単操作】の画面で、
ハイコントラストの設定や、
カーソルを見やすいように
太くすることができます。



MEMO

チャームから検索を表示させなくても、スタート画面が表示されている状態でキーボードで文字を入力すると検索画面に自動的に変わり、検索が行えます。
例えば、スタート画面が表示されている状態で「簡単」と入力すると検索画面になり「簡単」の検索が行われていますので、【設定】をクリックすることで、【簡単操作】や【簡単操作センター】を選ぶことができます。

さらに詳細な設定を行う場合は、「コンピューターの簡単操作センター」を表示させます。



- 6 先ほどの検索結果から
【コンピューターの簡単操作
センター】をクリックします。



- 7 デスクトップ画面に切り替わり、
【コンピューターの簡単操作
センター】が表示されます。

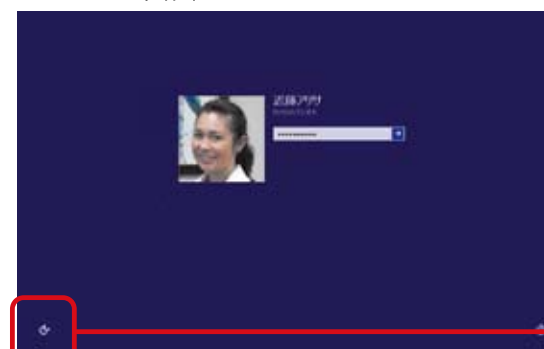
サインイン画面でのアクセス

ロック画面



- 1 コンピューターを起動すると
ロック画面が現れます。
マウスをクリックしたり、
画面を上向きになぞることで、
サインイン画面が現れます。
コンピューターに複数のユーザーを
登録している場合は、
サインイン画面の前に、
ユーザーの選択画面が現れます。

サインイン画面

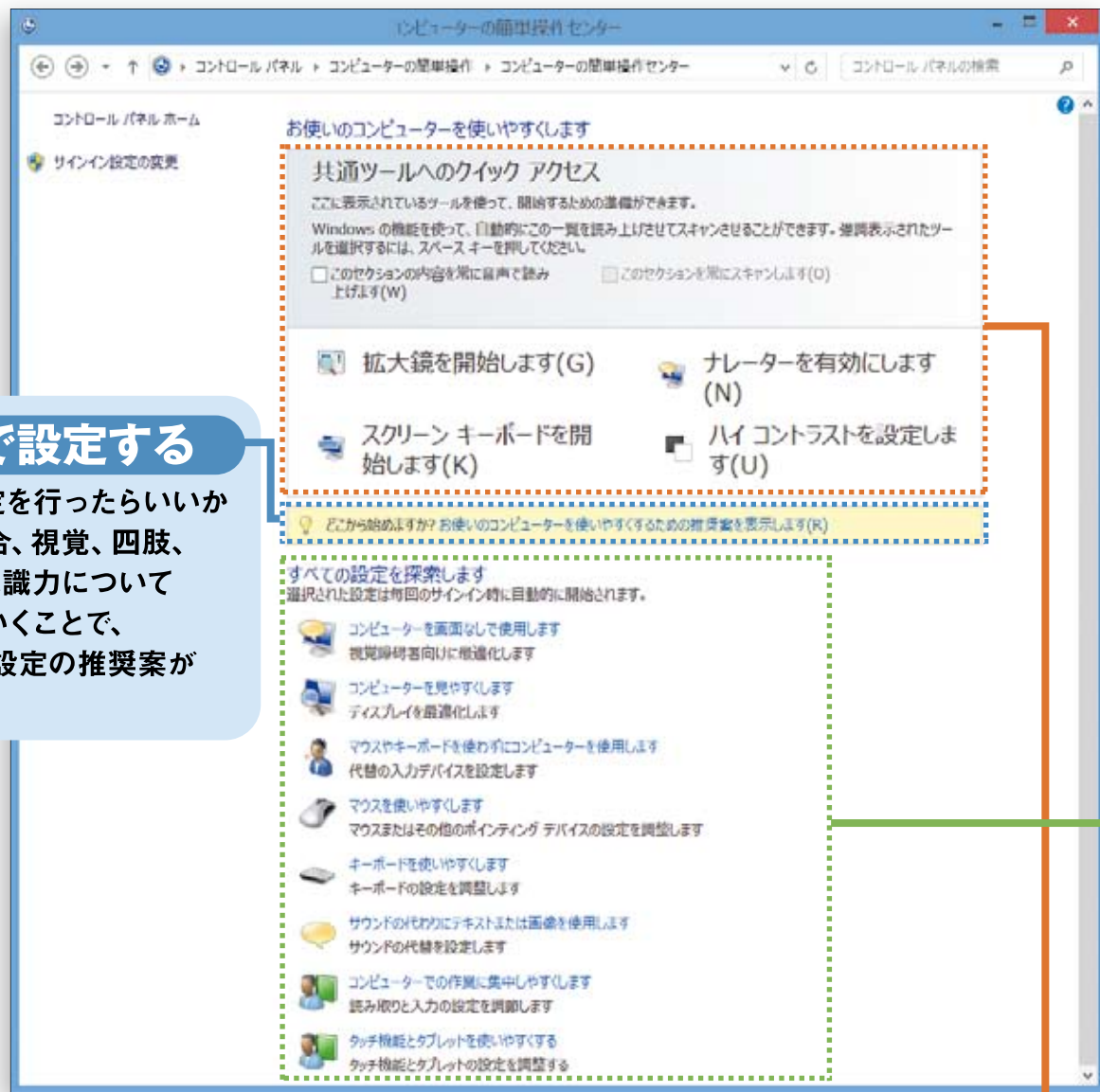


- 2 左下にある [] マークをクリックすると
ナレーター、拡大鏡、スクリーンキーボード、
ハイコントラスト、固定キー、
フィルターキーの各機能を
アクティブにすることができます。

コンピューターの簡単操作センターの概要

推奨案で設定する

どのような設定を行ったらいいかわからない場合、視覚、四肢、聴覚、発声、認識力について質問に答えていくことで、必要な機能や設定の推奨案が表示されます。

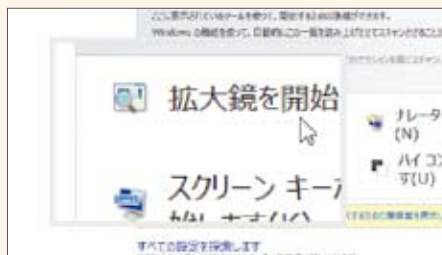


ツールへのクイック アクセス

よく使われる 4 つの機能にすぐにアクセスできます。

拡大鏡 P15-16

虫眼鏡のように画面の一部を拡大して見ることができます。拡大した画面の色を反転させたり、拡大鏡のウィンドウの大きさや場所を自由に変更することができます。



拡大鏡で画面の一部を拡大



ナレーター P11-12

画面のテキスト情報を読み上げます。

目的別に設定する

目的にあわせて、パソコンを設定することができます。

画面なしで使用します P10-12

パソコンを画面を使わずに使用する場合の設定を行います。

コンピューターを見やすくします P13-16

画面の解像度を変更したり、文字やアイコンの大きさを変更したり、詳細な設定を行うことができます。

マウスやキーボードを使わずに P17-21

スクリーン キーボードや音声認識の設定を行います。



キーボードを使いやすく P24-29

2 つ以上のキーを同時に押すことが難しい場合に有効な「固定キー機能」や速いキー入力や繰り返しの入力を無視することで誤操作を減らせる「フィルター キー機能」などを設定することができます。

サウンドの代わりにになる機能 P30

サウンドの代わりに画面を点滅させたりすることができます。

タッチ機能とタブレット P32

タブレット型パソコンを使う際に起動する機能を選択できます。



画面を見やすいように設定する

マウスを使いやすく P22-23

マウス ポインターの大きさを変えるなど、マウスの詳細な設定を行います。



マウス ポインターの色やサイズを設定

作業に集中しやすくします P31

読み取りや入力の設定を調節して作業に集中できる環境をつくります。

スクリーン キーボード P18-19

通常のキーボードの操作が難しい場合、画面上のキーボードをマウスやスイッチなど操作して文字を入力することなどが可能です。直接キーをクリックして選択するほか、自動的にスキャンさせて選択するなど、入力モードも選択できます。



画面上のキーボードをマウスやスイッチで操作

ハイ コントラスト P14

通常の画面の配色では、まぶしいなどの理由で見にくい場合、画面の見やすさを調整できます。

画面の配色を見やすいものに設定



目的に応じて コンピューターを使いやすく設定

コンピューターを画面なしで 使用します

ほとんど画面を見ることができない弱視または全盲の方向けに、
パソコンを最適化します。

このスクリーンショットは「コンピューターを画面なしで使用します」の設定画面です。右側の注釈ボックスは以下の通りです。

- P11 で詳しく説明します**：「ナレーターを有効にします(U)」のチェックボックス。
- ソフトウェアが対応している場合、映像で起こっていることを音声で説明します。**：「オーディオの説明を有効にします(I)」のチェックボックス。
- 音声の選択、速度の設定などができます。**：「テキストの音声変換を設定します(S)」のリンク。
- 対応している場合、画面上のアニメーションを無効にします。**：「必要のないアニメーションは無効にします(可能な場合)(W)」のチェックボックス。
- ダイアログボックスが表示している時間を5秒、7秒、15秒、30秒、1分、5分と変えることができます。**：「Windows の通知ダイアログ ボックスの表示時間(X)」のプルダウンメニュー。
- 再生や録音をするデバイスの設定、イベントに適用されるサウンドの設定が行えます。**：「オーディオ デバイスとサウンド テーマ(A)」のリンク。

テキストが音声で読み上げられるのを聞きます



ナレーター

XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

Win 8 対応

入力したキーや、フォーカスが当たっているところなど、
画面上の情報を音声で読み上げるので、
コンピューターの画面を見ることが難しい方の補助になります。

ナレーターの設定

- 1 「テキストが音声で読み上げられるのを聞きます」の
[ナレーターを有効にします(U)] の
チェックボックスをチェックし
適用(P) をクリックすると、
ナレーターが起動し、設定画面が現れます。

- 2 この設定画面でナレーターを
使いやすくするための
さまざまな設定を行います。
P12もあわせて参照してください。

- A 全般**
ナレーターの起動や、
読み上げについてなどの設定を行います。
**[コマンドごとに押さなくてもいいように
ナレーターキーをロックする]**を
チェックすると、
ナレーターで使えるショートカットキーで
多く使われる [Ctrl] と [Alt] を
コマンドごとに押す必要がなくなります。
※101 キーボードの場合は、
[Ctrl] と [Alt] ではなく、
[CapsLock] になります

オーディオ キューとは、
タッチ機能でダブルタップした際などに
出るサウンドです。

共通項目のヒントとは、
タッチ機能でダブルタップした際に、
対応している場合に現れる詳細情報です。

このスクリーンショットは「ナレーターの設定」画面の上部です。左側のメニューには以下の項目があります。

- A 全般(G)**：ナレーターの起動方法と他の標準設定を変更します
- B ナビゲーション(N)**：ナレーターを使用して PC を操作する方法を変更します
- C 音声(V)**：現在の音声のスピード、高さ、または音量を変更するか、新しい音声を選択します
- D コマンド(C)**：独自のキーボード コマンドを作成します
- E 最小化(M)**：このウィンドウを最小化してお使いのアプリに戻ります
- F 終了(E)**：ナレーターを終了します

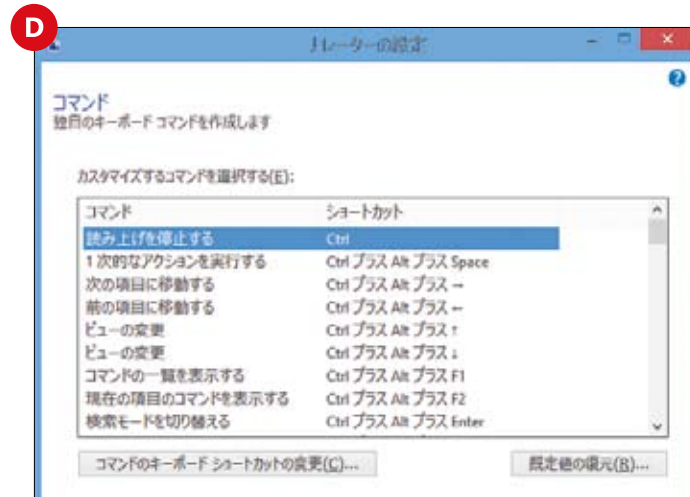
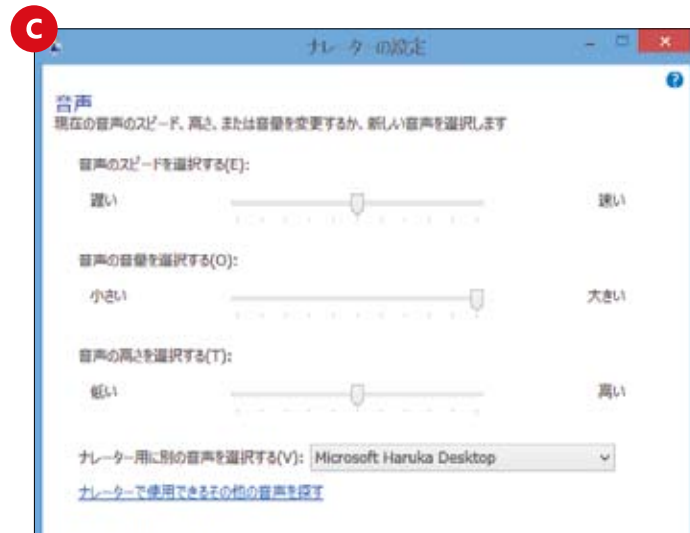
このスクリーンショットは「ナレーターの設定」画面の「全般」タブです。設定項目は以下の通りです。

- ☐ コマンドごとに押さなくてもいいようにナレーター キーをロックする (Ctrl + Alt)(L)
- ☒ ナレーターのウィンドウを最小化した状態で開始する(B)
- ☒ 入力時にキーボード操作を読み上げる(E)
- ☒ 音声によるナレーターのエラーを音声で読み上げる(B)
- ☐ ナレーター カーソルの視覚的な強調表示を有効にする(X)
- ☒ オーディオ キューの再生(I)
- ☒ 共通項目のヒントを読み上げる(H)
- ☒ ナレーターの実行時に他のアプリの音量を下げる(A)

未読の通知を次の時間表示しておく(N): 30 秒

コンピューターを見やすくします

障害（しょうがい）や加齢にともなう視力低下によって、画面の文字やマウス ポインターなどが見えにくいことがあります。ここでは文字を大きくする、画面の配色を変更するなど、画面を見やすくするための設定を行います。



B ナビゲーション

マウスやタッチ機能を使う場合のナレーターの設定を行います。
【タッチ キーボードから指を離したときにキーを有効にする(F)】をチェックすると、通常ダブルタップが必要な操作が、指を離したときに有効になります。

C 音声

読み上げる音声を変更したり、読み上げるスピードや音量、高低の設定を行います。Windows 8には日本語音声「Microsoft Haruka Desktop」が標準で搭載されていますので、通常「Haruka」で読み上げを行いますが、対応している音声をコンピューターに取り込めば、その音声で読み上げを行うことができます。

D コマンド

ナレーターのキーボードショートカットの一覧が参照できます。また、ショートカットを変更したい場合は、変更したいコマンドを選択して、「コマンドのキーボードショートカットの変更」を選択し、使用したいショートカットを直接入力することで変更できます。

E 最小化

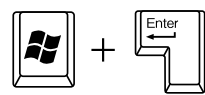
ナレーターの設定ウィンドを最小化します。

F 終了

ナレーターを終了します。

ショート
カット

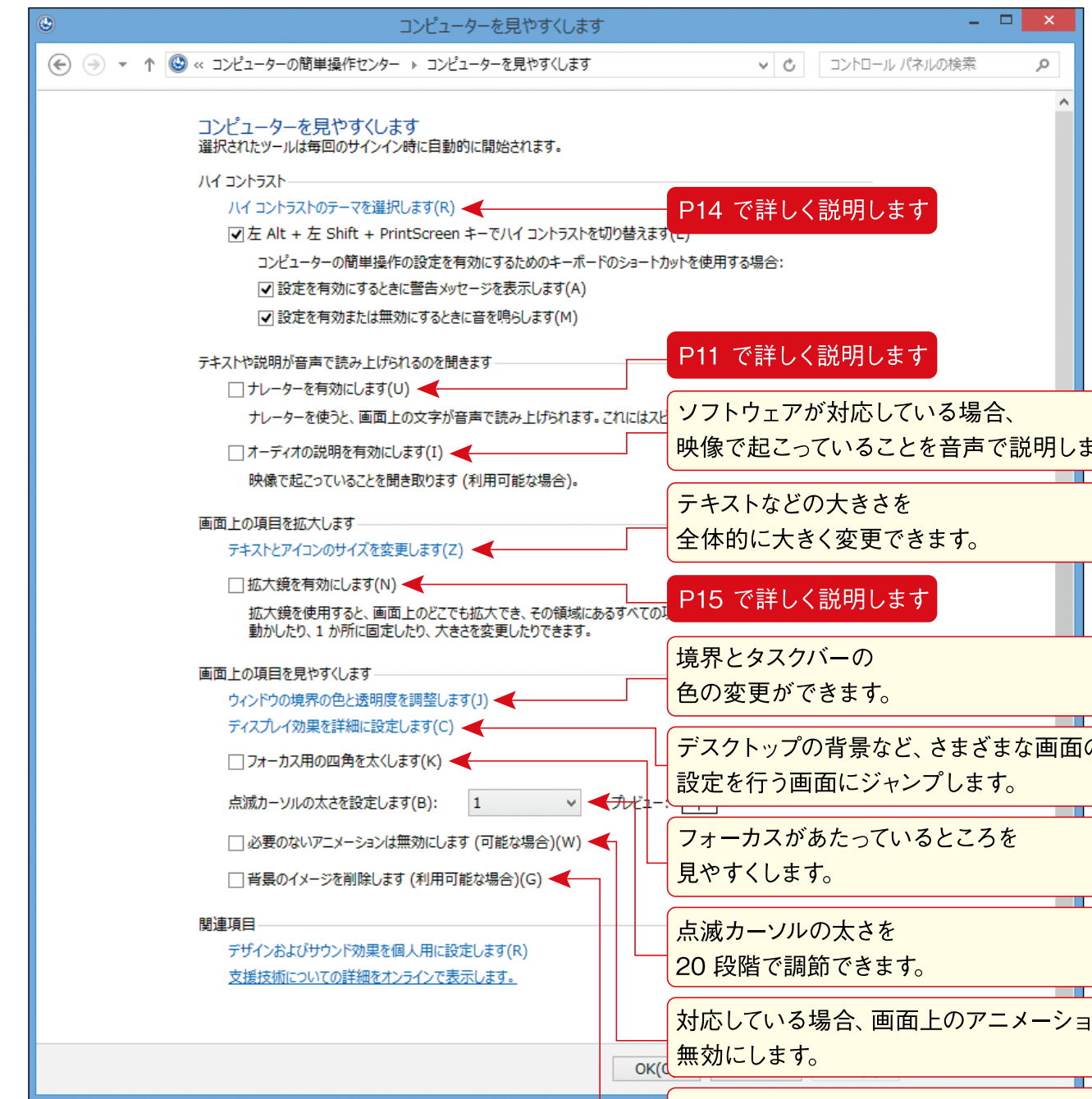
ナレーター機能はショートカットでも起動できます。



[Windows ロゴ] キーと [Enter] を押します。

MEMO

タッチ対応パソコンでナレーターを使用する場合は、P32も参照してください。



P14 で詳しく説明します

P11 で詳しく説明します

ソフトウェアが対応している場合、映像で起こっていることを音声で説明します。

テキストなどの大きさを全体的に大きく変更できます。

P15 で詳しく説明します

境界とタスクバーの色の変更ができます。

デスクトップの背景など、さまざまな画面の設定を行う画面にジャンプします。

フォーカスが当たっているところを見やすくします。

点滅カーソルの太さを20段階で調節できます。

対応している場合、画面上的アニメーションを無効にします。

対応している場合、背景のイメージを削除し、デスクトップをシンプルにします。

ハイ コントラスト

通常の配色では画面がまぶしいという場合など、
「ハイ コントラスト」を設定すると見やすくなる場合があります。

XP 対応 Vista 対応 Win 7 対応 Win 8 対応

ハイ コントラストの設定

1 「ハイ コントラスト」の
[ハイ コントラストのテーマを
選択します(R)] をクリックします。

2 テーマのリストの下の方にある
「ハイ コントラスト テーマ」
の中から見やすいテーマを選択すると
画面全体がハイ コントラストに
設定されます。

3 さらに詳細な設定を行うには、
[色] をクリック。
ウィンドウ、テキスト、ハイパーリンクの
色などをそれぞれ
変更することができます。



ショート
カット

ハイ コントラスト画面はショートカットでも設定できます。



[Alt] と [Shift (左)] と [PrtScn] を押します。



拡大鏡

XP 対応 Vista 対応 Win 7 対応 Win 8 対応

拡大鏡を使用すると、画面を拡大して見ることができます。

拡大鏡の設定

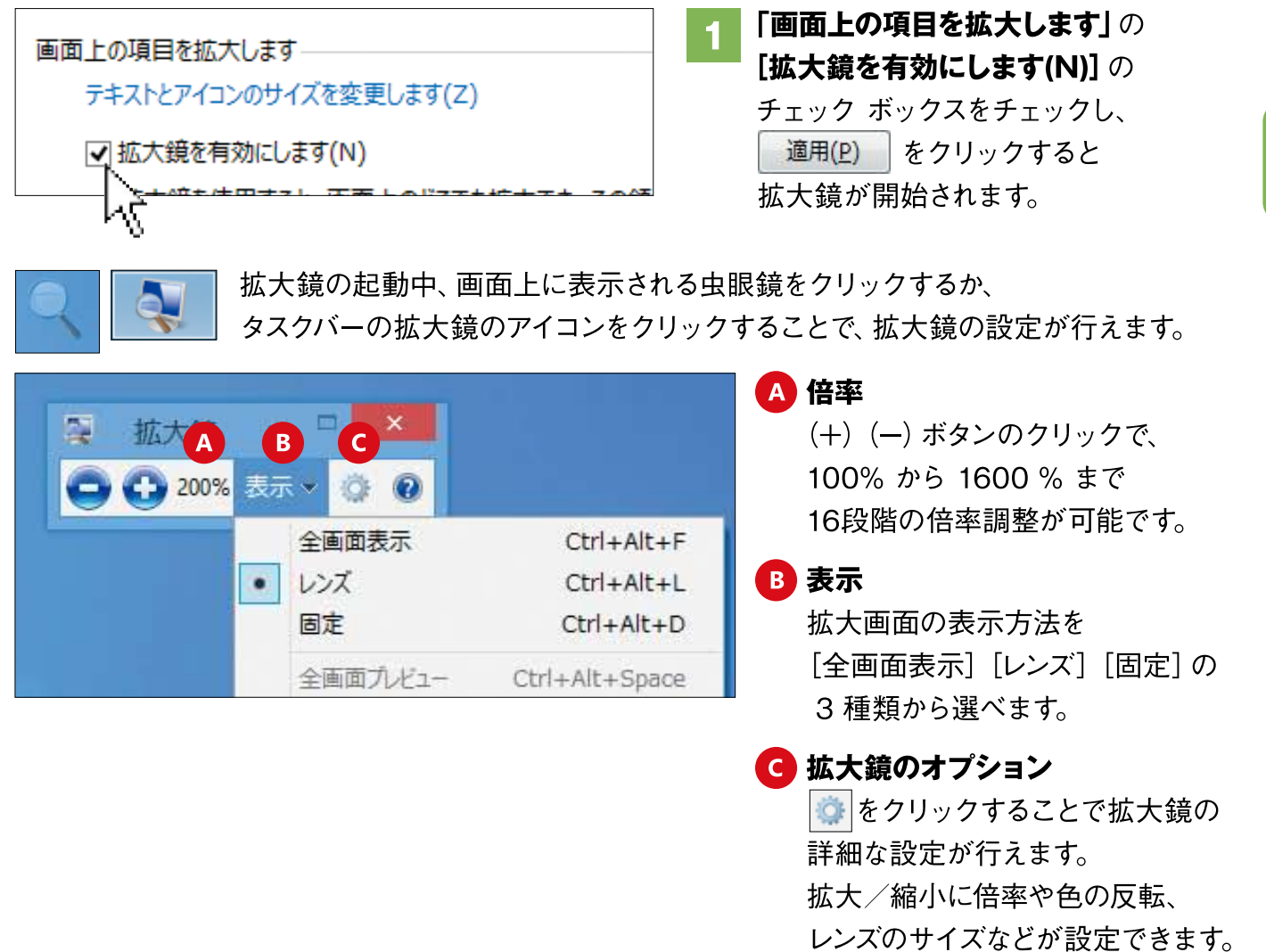
1 「画面上の項目を拡大します」の
[拡大鏡を有効にします(N)] の
チェック ボックスをチェックし、
適用(P) をクリックすると
拡大鏡が開始されます。

拡大鏡の起動中、画面上に表示される虫眼鏡をクリックするか、
タスクバーの拡大鏡のアイコンをクリックすることで、拡大鏡の設定が行えます。

A 倍率
(+) (−) ボタンのクリックで、
100% から 1600 % まで
16段階の倍率調整が可能です。

B 表示
拡大画面の表示方法を
[全画面表示] [レンズ] [固定] の
3 種類から選べます。

C 拡大鏡のオプション
⚙️ をクリックすることで拡大鏡の
詳細な設定が行えます。
拡大／縮小に倍率や色の反転、
レンズのサイズなどが設定できます。



拡大鏡機能はショートカットでも利用できます。

ショート
カット



[Windows ロゴ] キーと [+] を押します。

②画面上のコンテンツが [+] を押すたびに段階的に拡大されます。

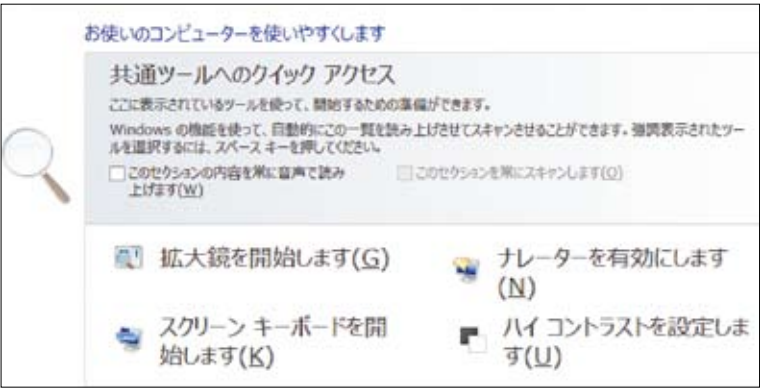
③[−] を押すことで、画面表示が縮小されます。

MEMO

タッチ対応パソコンで拡大鏡を使用する場合は、P33も参照してください。

拡大鏡の表示

拡大鏡は見やすいように、お好みに合わせて表示方法を変えることができます。

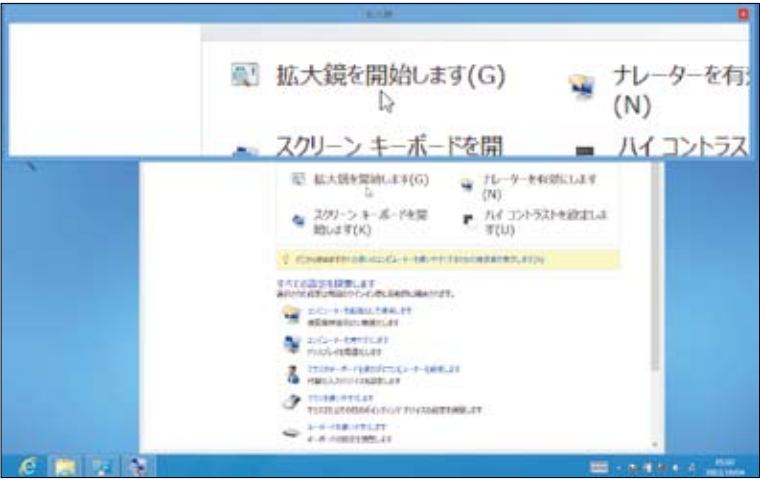


全画面表示

画面全体を拡大表示します。
マウス ポインターを動かすことで、画面上を移動することができます。
拡大された画面上で、マウスのクリックやキーボードでの入力などの操作も行うことができます。

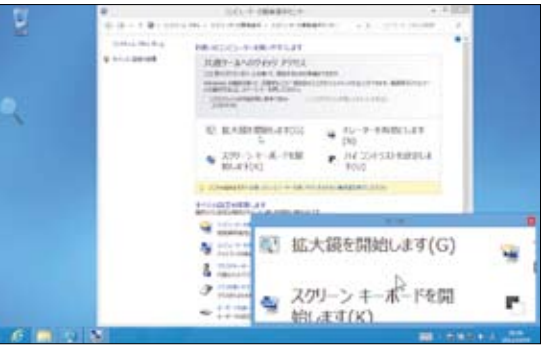
レンズ

虫眼鏡で画面を見ている感覚でマウス ポインターの周囲を拡大します。
マウス ポインターを動かすとレンズも一緒に移動します。



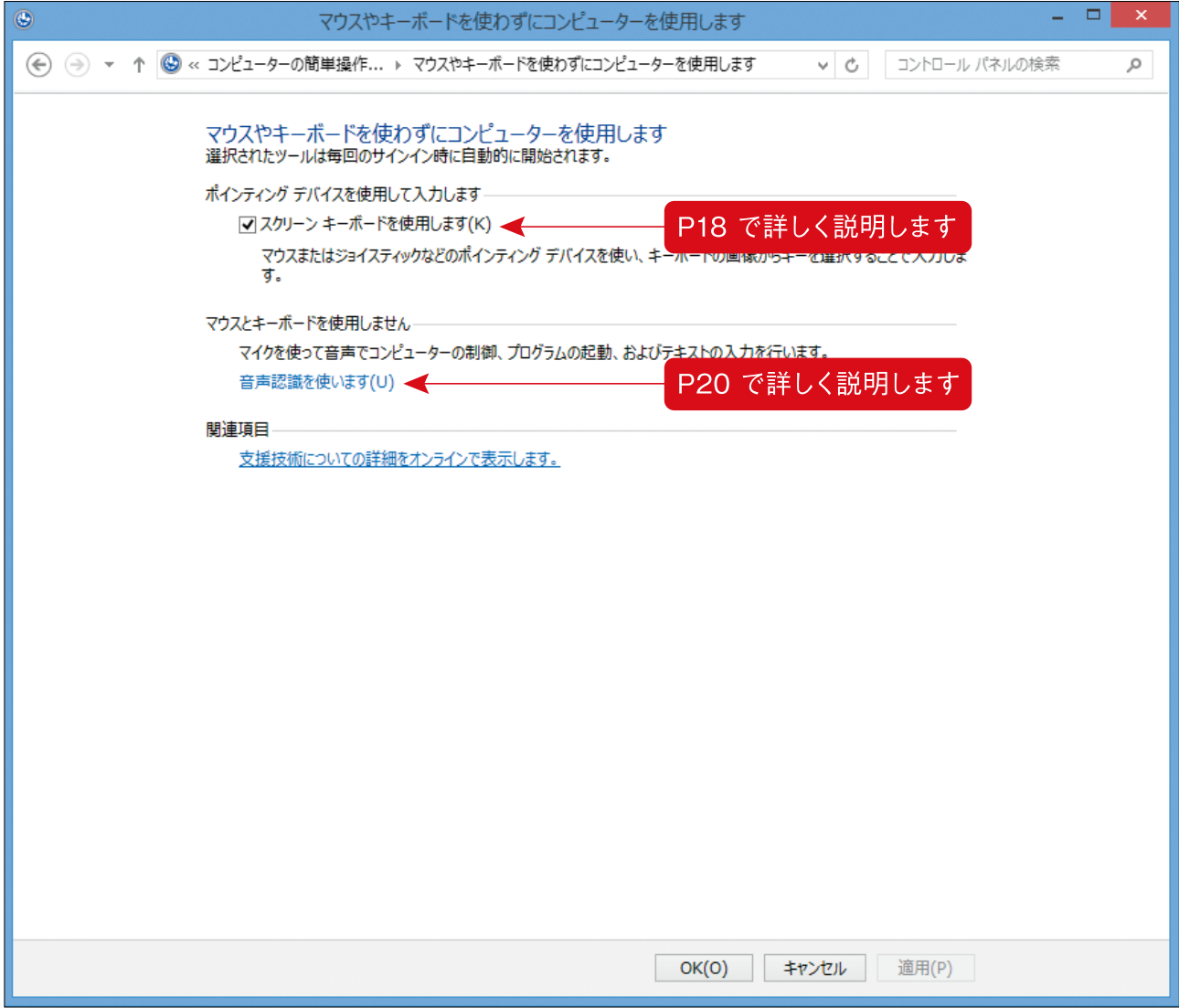
固定

固定したウィンドウに画面を拡大して表示することができます。
ウィンドウは、モニター上の好きな場所に好きな大きさで固定することができます。



マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します

通常のマウスやキーボードに代わる入力デバイスをセットアップして利用します。





スクリーン キーボード

標準的なキーボードを扱うことが難しい場合、スクリーン上のキーボードを使って文字を入力することができます。

XP 対応 Vista 対応 Win 7 対応 Win 8 対応

スクリーン キーボードを使用する

マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します
選択されたツールは毎回のサインイン時に自動的に開始されます。

ポインティング デバイスを使用して入力します

☒ スクリーン キーボードを使用します(K)

マウスまたはジョイスティックなどのポインティング デバイスを使い、キーボードの画像からキーを

1 「マウスやキーボードを使わずにコンピューターを使用します」の
[スクリーン キーボードを使用します(K)]
のチェック ボックスをチェックし、
適用(P) をクリックすると
スクリーン キーボードが起動します。



ナビ表示
上に表示
下に表示
固定表示
透過表示

[ナビ表示] ナビ表示だけの
キーボードを
表示します。

[上に表示] キーボードを任意の
場所に固定することが
できます。

[下に表示] キーボードを任意の
場所に固定することが
できます。

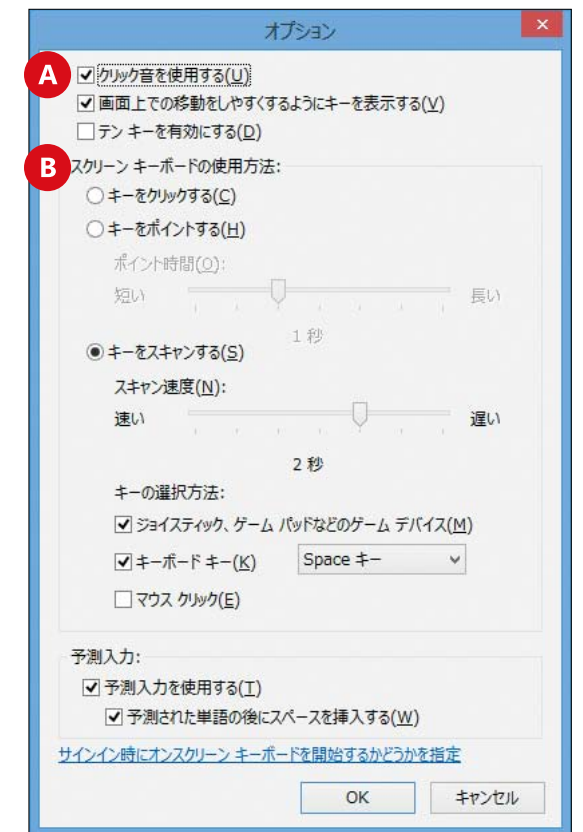
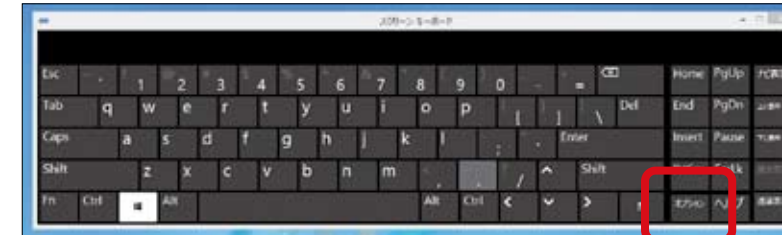
[固定表示] キーが選択されるまで、
スクリーン キーボードを
透過することができます。

[透過表示]



キーボードのサイズは変更することができます。

オプションから使用方法などを設定する



A クリック音を使用する/テン キーを有効にする
用途に応じて使用環境を整えられます。

B 入力方法を選ぶ

● キーをクリックする

スクリーン キーボードのキーをクリックすると文字を入力できます。
タッチ機能にも対応しているので、ハードウェアが対応していれば、
直接指で画面上のキーに触れることでも入力ができます。

● キーをポイントする

スクリーン キーボードのキーの上に、設定した秒数の間ポインターを置いていて、
クリックしなくても文字を入力できます。キーを押すのが難しい方に適しています。

● キーをスキャンする

キーボードが設定した時間ごとにスキャンされ、キーボードの文字の領域が強調表示されるので、
ジョイスティックやキーボード、入力スイッチなどから 1 つの信号を送ることで
入力したい文字を選び入力することができます。





音声認識

XP 対応

Vista 対応

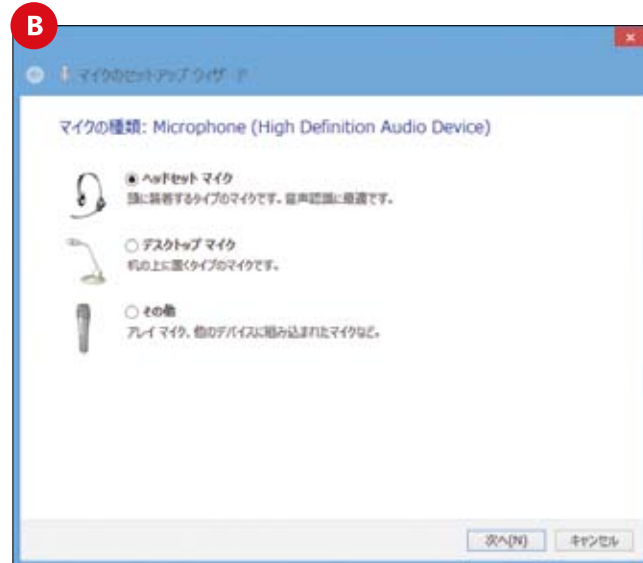
Win 7 対応

Win 8 対応

音声を使用して、プログラムを起動する、メニューを開くなどのコンピュータの操作や音声による文字入力を行うことができます。

音声認識の設定

音声認識を使います(U)



1 「マウスやキーボードを使わずにコンピュータを使用します」の「音声認識を使います(U)」をクリック。

2 「音声認識」画面が表示されます。

A **音声認識の開始**
音声でのコンピュータの制御を開始します。

B **マイクのセットアップ**
音声認識に使うマイク (別売) を選んでテストをします。
マイクのセットアップを実施しないと音声認識を開始できません。
マイクのセットアップを行わずに音声認識を開始しようとすると、セットアップが始まります。

C **音声認識チュートリアルの実施**
音声認識のコマンドなどがわかりやすく学習できるビデオです。
実施しなくても音声認識は開始できますが、Windows 8 の音声認識を理解するのに最適なビデオです。

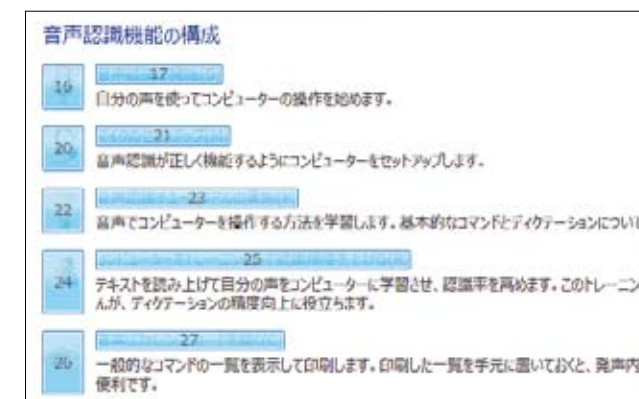
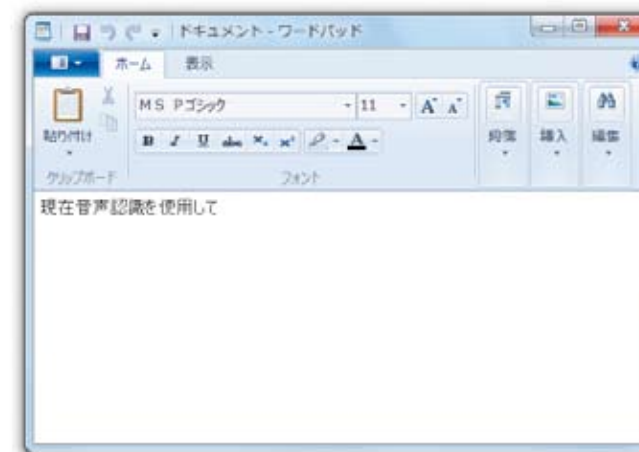
D **ユーザーの音声をより正確に認識できるように、コンピュータに学習させる**
ユーザーの音声を認識する機能を向上させるために、コンピュータに学習させます。

E **音声認識リファレンスカードを開く**
よく使用するコマンド一覧を表示、印刷できます。

音声認識の利用

音声認識機能の構成

音声認識の開始(S)
自分の声を使ってコンピュータの操作を始めます。



1 「音声認識機能の構成」の「音声認識の開始(S)」をクリック。

2 画面上にマイク ユーザー インターフェイスが現れます。「聞き取りを開始」と言うなどして音声認識を開始させます。

マイクに向かって入力したい文字やコマンドを言います。

メモ帳などに文字を入力することができます。

「番号を表示」と声で指示すると画面上に番号が表示されます。番号を選んで「OK」と言うことでその項目を実行できます。

「マウス グリッド」と声で指示すると画面上にグリッドが現れます。目的の場所がある番号を言うと、さらに、その番号内にグリッドが表示されていき、デスクトップ上の目的の場所の操作を行うことができます。

マウスを使いやすくします

マウスの設定や、マウスを使いやすくするための設定を行います。

マウスを使いやすくします
選択されたツールは毎回のサインイン時に自動的に開始されます。

マウス ポインター
マウス ポインターの色とサイズを変更します。

マウス ポインターの色とサイズを変更、設定することができます。

マウスをキーボードで操作します
☒ マウス キー機能を有効にします(M)
テンキーを使ってマウス ポインターを画面上で動かします。
[マウス キー機能を設定します\(Y\)](#)

ウィンドウの管理を簡単にします
☐ マウス ポインターをウィンドウ上に合わせたときにウィンドウを選択します(W)
☐ ウィンドウが画面の端に移動されたとき自動的に整列されないようにします

関連項目
[マウス設定\(S\)](#)
[支援技術についての詳細をオンラインで表示します。](#)

Callout boxes:
- マウス ポインターの色とサイズを変更、設定することができます。
- P25 で詳しく説明します
- クリックしなくてもポインタをウィンドウ上にあわせただけで、ウィンドウを選択することができますようにします。
- ウィンドウの自動整列機能をオフにします。
- P23 で詳しく説明します

マウス設定

マウス設定

XP 対応

Vista 対応

Win 7 対応

Win 8 対応

マウスの詳細な設定を変更、調整することができます。

マウス設定

関連項目
[マウス設定\(S\)](#)
[支援技術についての詳細をオンラインで表示します。](#)

マウスのプロパティ

ボタン ポインター ポインター オプション ホイール ハードウェア デバイス設定

デバイス(V): 他ポインティングデバイス

A ボタン
左 - 左クリック (標準の選択とドラッグ)
右 - 右クリック (コンテキスト メニューと補助ドラッグ)

B ポインター
マウス ポインターの色や形の変更やカスタマイズができます。

C ポインター オプション
●ポインターの動く速さを調整
●ポインターを自動的に OK ボタンなどの上に移動
●ポインターの描く軌跡を調整
●入力中に邪魔にならないようにポインターを非表示
●ポインターの現在位置を表示

D ホイール
ホイール付きマウスのホイールの挙動を調整できます。

E ハードウェア
マウスの種類を選択することができます。

F デバイス設定
お使いのパソコンによって、タッチ パッドなどの設定が行えます。

マウスのプロパティ

ボタン ポインター ポインター オプション ホイール ハードウェア デバイス設定

C ポインター オプション

速度
ポインターの速度を選択する(C):
遅く 速く
☒ ポインターの精度を高める(E)

動作
☐ ポインターを自動的に既定のボタン上に移動する(U)

表示
☐ ポインターの軌跡を表示する(D)
☒ 文字の入力中にポインターを非表示にする(H)
☐ Ctrl キーを押すとポインターの位置を表示する(S)

1 「マウスを使いやすくします」の「関連項目」から [マウス設定(S)] をクリックします。

2 「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されさまざまなマウスの設定が行えます。

- A ボタン**
左右ボタンの切り替えやダブル クリックの速度を調整できます。
- B ポインター**
マウス ポインターの色や形の変更やカスタマイズができます。
- C ポインター オプション**
 - ポインターの動く速さを調整
 - ポインターを自動的に OK ボタンなどの上に移動
 - ポインターの描く軌跡を調整
 - 入力中に邪魔にならないようにポインターを非表示
 - ポインターの現在位置を表示
- D ホイール**
ホイール付きマウスのホイールの挙動を調整できます。
- E ハードウェア**
マウスの種類を選択することができます。
- F デバイス設定**
お使いのパソコンによって、タッチ パッドなどの設定が行えます。

キーボードを使いやすくします

キーボードの設定や、入力しやすくするための設定を行います。

キーボードを使いやすくします
選択されたツールは毎回のサインイン時に自動的に開始されます。

マウスをキーボードで操作します
☒ マウス キー機能を有効にします(M)
テンキーを使ってマウス ポインターを画面上で動かします。
[マウス キー機能を設定します\(Y\)](#)

入力しやすくします
☐ 固定キー機能を有効にします(R)
キーボードのショートカット (Ctrl+Alt+Del など) で 1 つずつキーを押します。
[固定キー機能の設定\(C\)](#)
☐ 切り替えキー機能を有効にします(K)
CAPS LOCK、NUM LOCK または SCROLL LOCK を押したときに音を鳴らします。
☒ NUM LOCK キーを 5 秒間押し続けることで切り替えキーの機能を有効にします。
☐ フィルター キー機能を有効にします(I)
速いキーボード操作または繰り返し入力されたキーボード操作は無視または減速して、キーボードのフィードバックを調整します。
[フィルター キー機能の設定\(L\)](#)

ショートカット キーを使いやすくします
☐ ショートカット キーとアクセス キーに下線を表示します(N)

ウィンドウの管理を簡単にします
☐ ウィンドウが画面の端に移動されたとき自動的に整列されないようにします

関連項目
[DVORAK キーボードを追加したり、他のキーボードの入力設定を変更します\(G\)](#)
[キーボード設定\(B\)](#)
[支援技術についての詳細をオンラインで表示します。](#)

P25 で詳しく説明します

P26 で詳しく説明します

[CAPS LOCK]、[NUM LOCK] または [SCROLL LOCK] を押したときに音を鳴らします。

P28 で詳しく説明します

下線を表示してショートカット キーをより見やすくします。

ウィンドウの自動整列機能をオフにします。

キーボードや入力言語を設定します。

キーボードの種類、反応速度などを設定します。

マウスをキーボードで操作します

マウス キー

XP 対応 Vista 対応 Win 7 対応 Win 8 対応

不随意運動が大きいなどでマウスの操作が難しい場合は「マウス キー」機能が便利です。

マウス キー機能の設定

マウスをキーボードで操作します

☒ マウス キー機能を有効にします(M)
テンキーを使ってマウス ポインターを画面上で動かします。

1 「マウスをキーボードで操作します」の「マウス キー機能を有効にします(M)」のチェックボックスをチェックし、
適用(P) をクリックするとマウス キーが有効になります。

[マウス キー機能を設定します\(Y\)](#)

2 「マウスをキーボードで操作する」の「マウス キー機能を設定します(Y)」をクリックします。

マウス キー機能を設定します

☒ マウス キー機能を有効にします(M)
画面でマウスを動かすときにテンキーを使います。

キーボード ショートカット
[M] マウス キーを Alt + M または NumLock と同時に押す(M)
コンピュータの簡単な操作の動作を無効にするためにキーボード ショートカットを無効にします
☒ 設定を無効にするときに警告メッセージを表示します(A)
☒ 設定を無効または無視するときに音を鳴らします(Y)

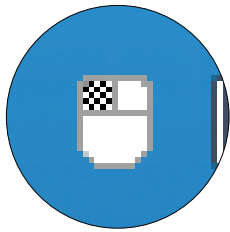
ポインター速度
速度調整:
遅 速
加速設定:
減速 加速
☐ 右クリックを無効にする/無視、Shift キーを無効にする/無視します(Y)

既定の設定
NumLock キーがオフの状態で起動し、マウス キー機能を有効にします:
☒ オン(O)
☐ オフ

A ☒ 設定リボーンでマウス キー機能をオンを表示します(Y)

OK(O) キーボード設定(Y) 適用(P)

3 マウス キー機能の設定画面が表示され、速度などが設定できます。



A ここをチェックしておくと、マウス キー機能が有効化されていることが通知領域に表示されます。

テンキーでマウス ポインターを操作する

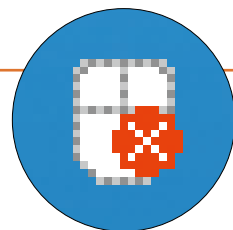


テンキーの 5 のキーを中心に、8 のキーを押すと上、2 のキーを押すと下にマウス ポインターを移動させることができます。斜めの移動やクリック、ダブル クリックもできます。

5 : クリック
+ : ダブル クリック
0 : ドラッグ開始
. : ドロップ
- : 右ボタン選択
/ : 左ボタン選択

MEMO

テンキーがないノートパソコンの場合、マウス キー機能を有効にしても、マウス キー機能が利用できず、バツ印がついたマウス キー機能の通知が表示されます。その場合、ノートパソコンの [Num Lock] などのキーを押すことで、ノートパソコンのキーをテンキーとして使用することができます。



入力しやすくします

固定キー

XP 対応 Vista 対応 Win 7 対応 Win 8 対応

ログオンするために [Ctrl]、[Alt]、[Delete] を同時に押すなど、Windows では、複数のキーを同時に押す操作が求められる時があります。しかし、2 つ以上のキーを同時に押すことができない場合は「固定キー」機能が役に立ちます。

固定キー機能のはじめ方

入力しやすくします

☒ 固定キー機能を有効にします(R)
キーボードのショートカット (Ctrl+Alt+Del など) で 1 つずつ

- 1 「入力しやすくします」の「固定キー機能を有効にします(R)」のチェック ボックスをチェックし、
適用(P) をクリックすると固定キーが有効になります。

固定キー機能の設定(C)



- 1 「入力しやすくします」の「固定キー機能の設定(C)」をクリックします。
- 2 固定キー機能のセットアップ画面が表示されます。

オプション

オプション

- A ☒ Ctrl、Alt、Shift、Windows ログ キーを 2 回続けて押すとそのキーをロックします(L)
- B ☒ 2 つのキーを同時に押すと固定キー機能を無効にします(U)

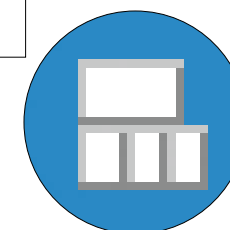
- A チェック ボックスをチェックすると、修飾キーと呼ばれる [Ctrl]、[Alt]、[Shift] や [Windows ログ] キーを 2 回続けて押すことで、そのキーを常に押されている状態にすることができます。
- B キーボード上の 2 つのキーを同時に押すことで、「固定キー」機能をその場で解除することができます。

フィードバック

フィードバック

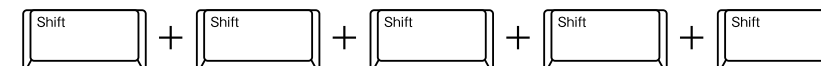
- ☒ Ctrl、Alt、Shift、Windows ログ キーが押されたときに音を鳴らします(Y)
- C ☒ 固定キー機能のアイコンをタスク バーに表示します(I)

- C 固定キー機能が有効化されていることを通知領域に表示します。



固定キーはショートカットでも設定できます。

ショート
カット



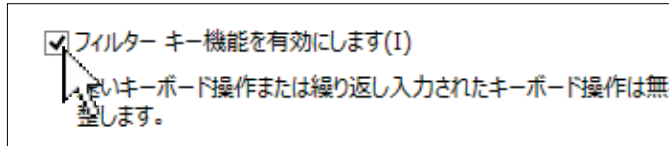
[Shift] を 5 回続けて押します。

フィルター キー

XP 対応 Vista 対応 Win 7 対応 Win 8 対応

マヒがあるためにキーボードの上を滑るようにしてキーを打つ、不随意運動があるためにキーボードに誤って触れてしまうことがある場合などは「フィルター キー」機能が有効です。

フィルター キー機能の設定

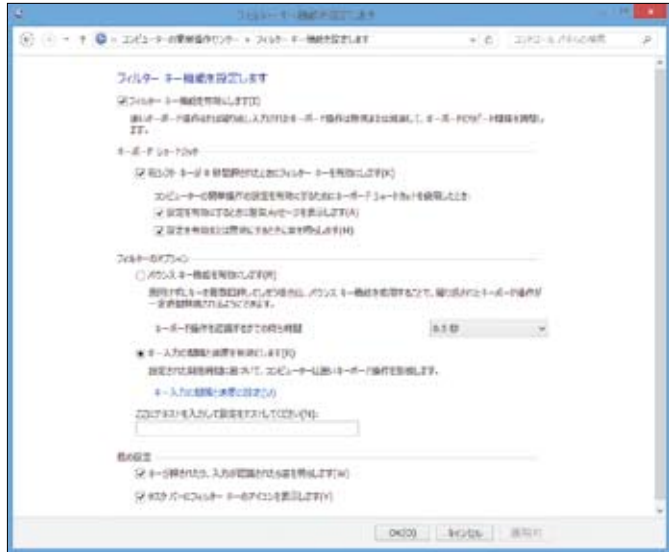


1 「入力しやすくする」の
[フィルター キー機能を有効にします(I)]
のチェック ボックスをチェックし、
適用(P) をクリックすると
フィルター キーが有効になります。



2 「入力しやすくします」の
[フィルター キー機能の設定(L)]
をクリックします。

3 フィルター キー機能のセットアップ画面が
表示されます。

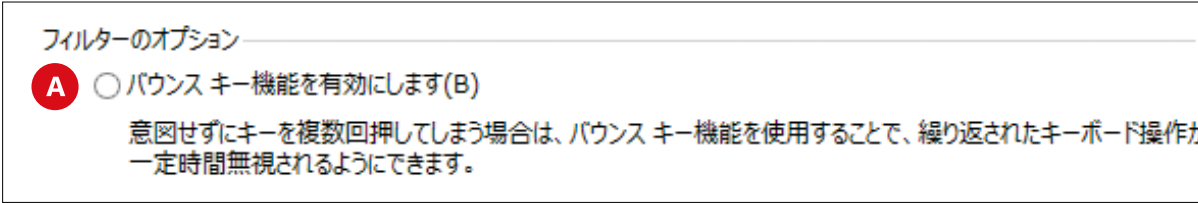


フィルター キーはショートカットでも設定できます。



[Shift (右)] を 8 秒間押し続けます。

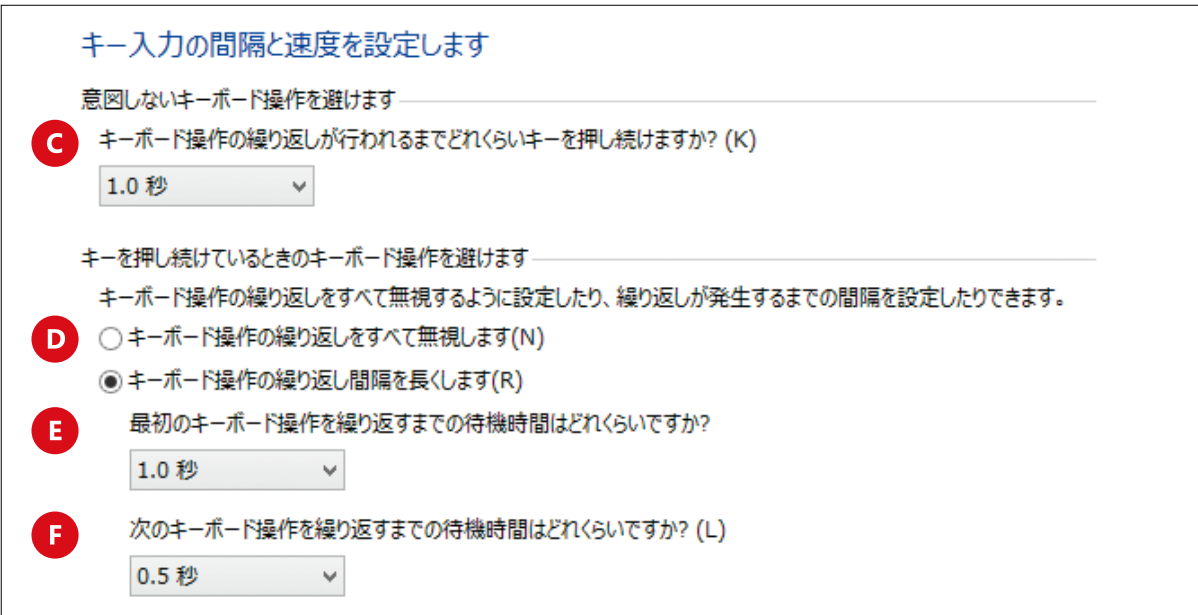
■フィルターのオプション



A 繰り返し押されたキーを設定した時間、無視します。

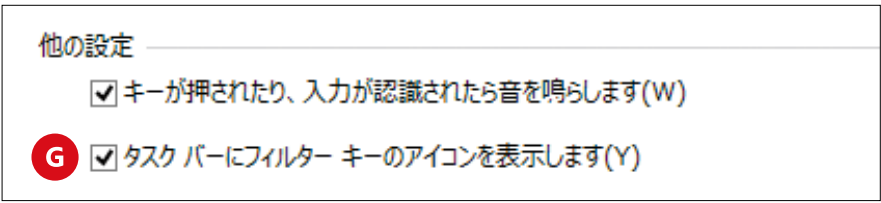


B [キー入力の間隔と速度の設定(U)] をクリックすると、
速いキー入力を無視して入力が認識されるまでの時間などを
セット アップ画面で詳細に設定することができます。

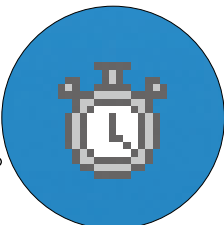


C キーを押してから入力と認識するまでの時間を設定します。
D キーを押し続けても無視されて、最初の1文字だけが入力されます。
E キー リピートを開始するまでの時間 (最初のキー入力を繰り返すまでの時間) を設定します。
F リピート間隔 (キー入力を繰り返すまでの時間) を設定します。

■他の設定

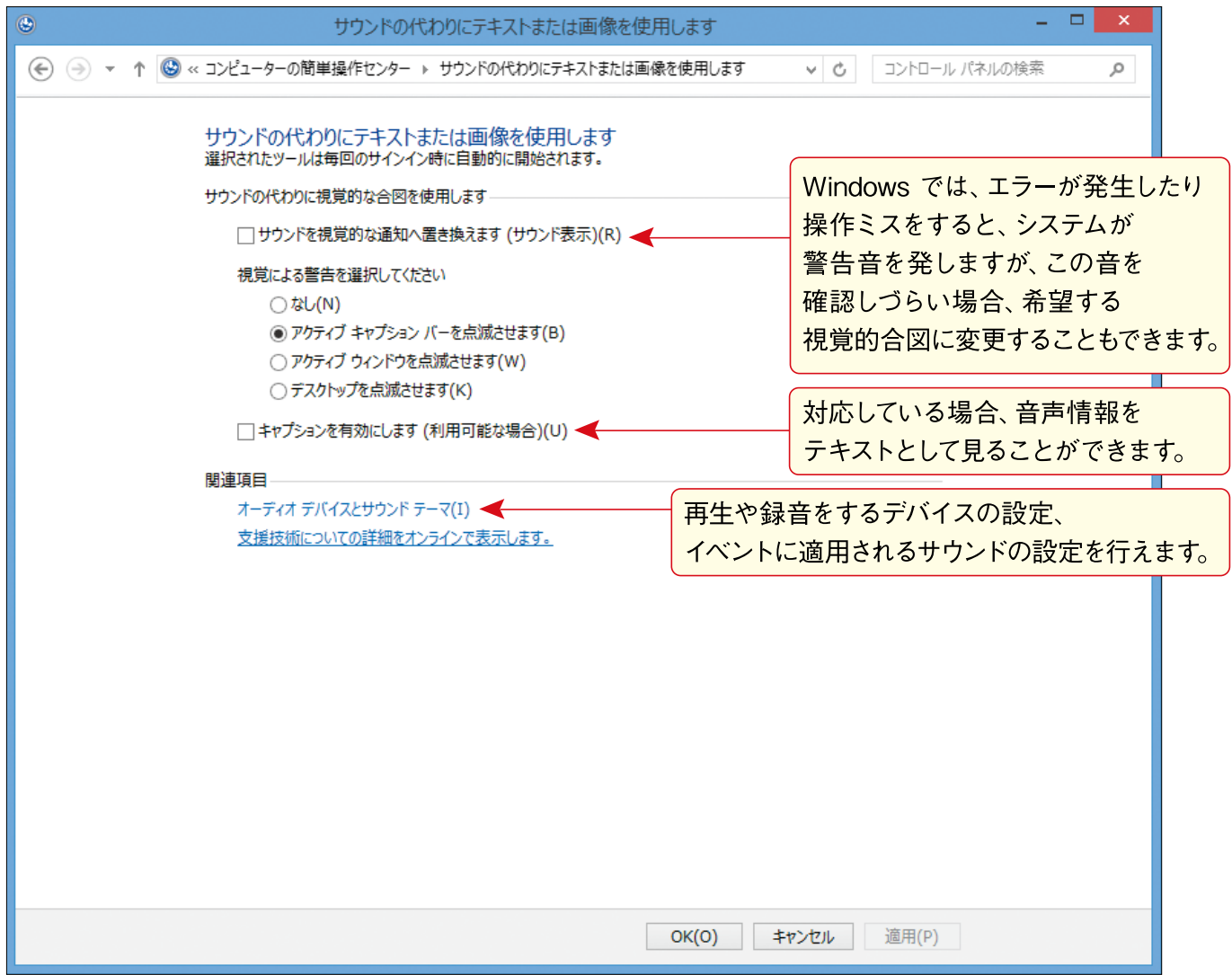


G フィルター キー機能が有効化されていることを通知領域に表示します。



サウンドの代わりにテキスト または画像を使用します

音が聞こえにくかったり、まったく聞こえない場合、
音声による情報を視覚的な情報にして表示することができます。



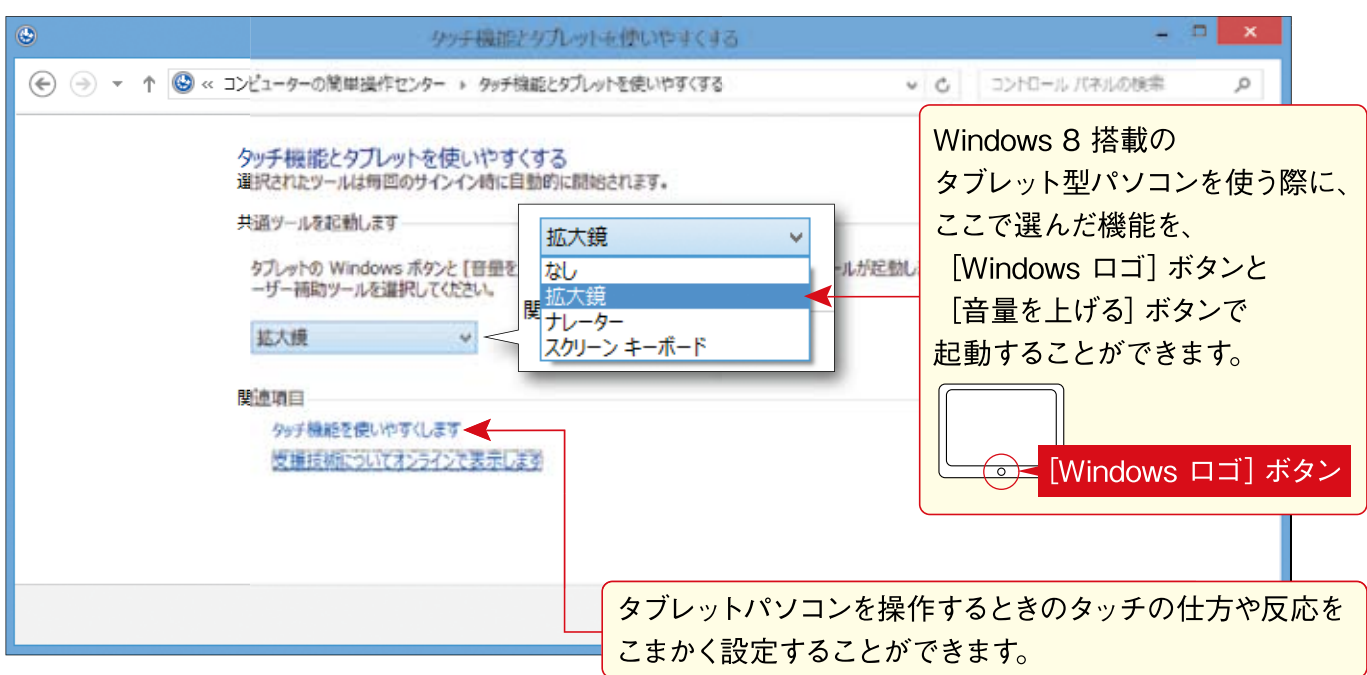
コンピューターでの作業に 集中しやすくします

パソコンの操作に集中し、作業をスムーズに進められる
さまざまな機能を設定できます。



タッチ機能とタブレットを使いやすくします

タブレット型パソコンを使う際に起動する機能を選択したりします。



Windows 8 搭載の
タブレット型パソコンを使う際に、
ここで選んだ機能を、
[Windows ログ] ボタンと
[音量を上げる] ボタンで
起動することができます。

拡大鏡
なし
拡大鏡
ナレーター
スクリーン キーボード

拡大鏡

タッチ機能を使いやすくします
拡張技術についてオンラインで表示します

タブレットパソコンを操作するときのタッチの仕方や反応を
こまかく設定することができます。

タッチ対応パソコンでナレーターを使用する

4 点タッチ対応パソコン（同時に4本の指でタッチしたことを認識できるパソコン）で
ナレーターをお使いになる場合、下記のタッチ操作でナレーターを使うことができます。

タッチ操作	目的
1 2本の指で 1 回タップ（軽くたたく）	ナレーターの読み上げを停止する
2 4本の指で 3 回タップ	ナレーターのコマンドをすべて表示する
3 ダブルタップ	プライマリ動作をアクティブにする
4 トリプルタップ	セカンダリ動作をアクティブにする
5 1本の指でタッチまたはドラッグ	指を当てた部分を読み上げる
6 1本の指で左/右ヘフリック（軽くはらう）	前の項目または次の項目に移動する
7 2本の指で上/下/左/右ヘスワイプ（なぞる）	スクロールする
8 3本の指で下方向ヘスワイプ	読み上げられるテキストの読み上げを開始する

タッチ対応パソコンで拡大鏡を使用する

タブレット型パソコンを両手で持って親指で操作する場合も、拡大鏡での拡大・縮小と
画面のスクロールがしやすいように、拡大鏡のナビゲーションが表示されます



ナビゲーションはキーボードを操作すると消え、画面をタッチすると再び現れます。
四隅のプラスまたはマイナスをタッチすると画面を拡大、縮小することができます。
4つの辺の半透明の部分を指でなぞることでスクロールすることができます。



Windows 8 アプリの操作について

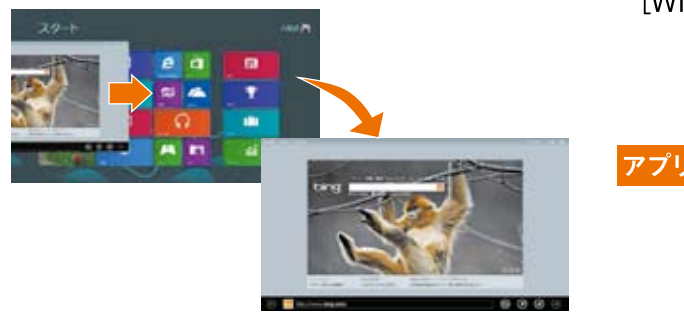
Windows 8 のスタート画面に表示されている
標準搭載アプリや、Windows ストアから
入手したアプリは、全画面で表示されます。
コマンドを実行するためにはコマンドを表示させます。

コマンドの表示方法
タッチで：画面の下端から上になぞる
マウスで：右ボタンをクリック
キーボードで：[Windows ログ] キー + [Z]



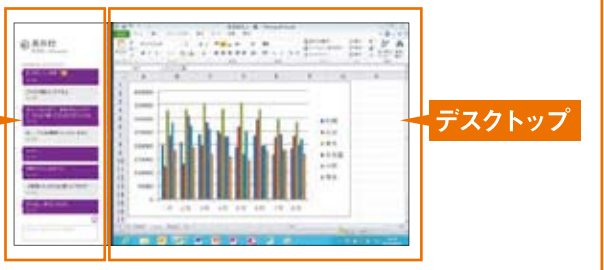
最近使用したアプリに
すばやく切り替えることができます。

アプリの切り替え方法
タッチで：画面の左端から、内側になぞる。
アプリが表示されたら左側に指を戻すと
最近使用したアプリの一覧が表示される
マウスで：ポインターを左上隅にあわせる。
そのままポインターを下におろすと
最近使用したアプリの一覧が表示される
キーボードで：[Windows ログ] キー + [Tab]



ひとつの画面に複数のアプリやデスクトップの
画面を並べて同時に使用することもできます。
それをスナップといいます。

スナップの方法
タッチで：画面の左端から内側になぞり、
画面が分割されたら指を離す
マウスで：アプリをドラッグして、
画面が分割されたらマウスのボタンから指を離す
キーボードで：[Windows ログ] キー + [Shift] +
[.(ピリオド)] (左にスナップ)
[Windows ログ] キー + [.(ピリオド)] (右にスナップ)



Windows 8 のキーボード ショートカット集

※Shift + Tab は Shift キーを押しながら Tab キーを押すという意味です。
※対応しているソフトウェアでは、Alt キーを押すとコマンドに追加キーのラベルが表示されます。
そのキーを押すと対応するコマンドを実行できます。

Windows 8 の新しいキーボード ショートカット	
キー操作	目的
Windows ロゴ キー	スタート画面を表示または非表示にする
Windows ロゴ キー + D	デスクトップを表示または非表示にする
Windows ロゴ キー + 入力を開始する	PC を検索する
Windows ロゴ キー + C	チャームを開く、アプリでアプリのコマンドを開く
Windows ロゴ キー + F	検索チャームを開いてファイルを検索する
Windows ロゴ キー + Q	検索チャームを開いてアプリを検索する
Windows ロゴ キー + W	検索チャームを開いて設定を検索する
Windows ロゴ キー + I	設定チャームを開く
Windows ロゴ キー + K	デバイス チャームを開く
Windows ロゴ キー + Z	アプリで使用できるコマンドを表示する
Windows ロゴ キー + Shift + ピリオド (.)	アプリを左にスナップする
Windows ロゴ キー + ピリオド (.)	アプリを右にスナップする
Ctrl + プラス記号 (+) または Ctrl + マイナス記号 (-)	スタート画面にピン留めされているアプリなど、 多数の項目を拡大または縮小する

Windows 8 の一般的なキーボード ショートカット	
Alt + F4	アクティブな項目を閉じる、またはアクティブなアプリを終了する
Alt + Esc	項目を開かれた順序で順番に切り替える
Alt + 下線付き文字	その文字のコマンドを実行する
Alt + Space	作業中のウィンドウのショートカット メニューを開く
Shift + F10	選択した項目のショートカット メニューを表示する
Windows ロゴ キー + 数字	数字で示す位置にあるタスク バーにピン留めされている デスクトップ アプリを開始する
Windows ロゴ キー + Tab	使用中のアプリ (デスクトップ アプリを除く) を順番に切り替える
Windows ロゴ キー + ↑	デスクトップ ウィンドウを最大化する
Windows ロゴ キー + ↓	デスクトップ ウィンドウを最小化する
Windows ロゴ キー + ←	画面の左側にデスクトップ ウィンドウを最大化する
Windows ロゴ キー + →	画面の右側にデスクトップ ウィンドウを最大化する
Alt + Tab	使用中のアプリを切り替える
Ctrl+Tab	次のタブに移動する
Ctrl + A	ドキュメントまたはウィンドウのすべての項目を選択する
Ctrl + X	選択した項目を切り取る
Ctrl + C (または Ctrl + Ins)	選択した項目をコピーする
Ctrl + V (または Shift + Ins)	選択した項目を貼り付ける
Ctrl + Y	操作をやり直す

Ctrl + Z	操作を元に戻す
Ctrl + D (または Del)	選択した項目を削除し、ごみ箱に移動する
Shift + Del	ごみ箱に移動せずに、選択した項目を削除する
Ctrl + R (または F5)	作業中のウィンドウを最新の情報に更新する
Windows ロゴ キー + P	プレゼンテーション表示モードを選択する

コンピューターの簡単操作センターのキーボード ショートカット	
Windows ロゴ キー + U	[コンピューターの簡単操作センター] を開く
Windows ロゴ キー + Enter	ナレーターを開く
Ctrl キー	ナレーターで読み上げを停止する
Ctrl + Alt + M	ナレーターで読み上げを開始する
Ctrl + Alt + V	ナレーターで繰り返し読み上げる
Ctrl + Alt + D	ナレーターでフォーカスのあるコントロールを読み上げる
Ctrl + Alt + H	ナレーターでドキュメント全体を読み上げる
Ctrl + Alt + W	ナレーターでウィンドウを読み上げる
Ctrl + Alt + PageUp または PageDown	ナレーターの音声の音量を調節する
Ctrl + Alt + プラス記号 (+) または マイナス記号 (-)	ナレーターの音声のスピードを調節する
Ctrl + Alt + Space	ナレーターの使用時に、操作を実行する
Ctrl + Alt + 左方向キー (または右方向キー)	ナレーターの使用時に、前の項目または次の項目に移動する
Ctrl + Alt + F2	ナレーターの使用時に、現在の項目のコマンドを表示する
CapsLock を続けて 2 回押す	CapsLock をオンまたはオフにする
Ctrl + Alt + Esc	ナレーターを終了する

*ナレーターのショートカットは、101 キーボードでは、Ctrl と Alt ではなく、CapsLock になります。
*ナレーターの設定で、毎回 Ctrl と Alt (CapsLock) を押さなくてもいいようにすることもできます。

Windows ロゴ キー + プラス記号 (+) または マイナス記号 (-)	拡大または縮小する (拡大鏡を起動する)
Ctrl + Alt + Space	拡大鏡の使用時に、全画面モードでプレビューする
Ctrl + Alt + F	拡大鏡で [全画面表示] に切り替える
Ctrl + Alt + L	拡大鏡で [レンズ] に切り替える
Ctrl + Alt + D	拡大鏡で [固定] に切り替える
Ctrl + Alt + I	拡大鏡で色を反転する
Ctrl + Alt + 方向キー	拡大鏡で方向キーの方向に表示を移動する
Ctrl + Alt + R	拡大鏡でレンズのサイズを変更する
Windows ロゴ キー + Esc	拡大鏡を終了する
左 Alt + 左 Shift + Print Screen	ハイコントラストのオンとオフを切り替える
左 Alt + 左 Shift + Num Lock	マウス キー機能のオンとオフを切り替える
Shift を 5 回押す	固定キー機能のオンとオフを切り替える
Num Lock を 5 秒間押す	切り替えキー機能のオンとオフを切り替える
右 Shift を 8 秒間押す	フィルター キー機能のオンとオフを切り替える